



魔法革命 *Magical Revolution*
ピアノ

1. バレエ音楽「ロミオとジュリエット」Op.64 ー導入曲<プロコフィエフ> ウクライナ国立交響楽団/アンドリュウ・モグレリア(指揮)	2:54
2. バレエ音楽「魔法の鍋」P129 ーコサックの踊り<レスピーギ> スロヴァキア放送交響楽団/アドリアーノ(指揮)	2:40
3. 「子供の魔法の杖」組曲第1番 ー序曲<エルガー> ニュージーランド交響楽団/ジェイムス・ジャッド(指揮)	1:36
4. 鐘の歌<アンダーソン> BBCコンサート・オーケストラ/レナード・スラットキン(指揮)	3:27
5. バレエ音楽「シンデレラ」組曲第1番 Op.107 ー真夜中<プロコフィエフ> ウクライナ国立交響楽団/テオドレ・クチャル(指揮)	2:03
6. バレエ音楽「火の鳥」ー火の鳥の出現〜カステイ王の魔の踊り<ストラヴィンスキー> フィルハーモニア管弦楽団/ロバート・クラフト(指揮)	5:43
7. バレエ音楽「くるみ割り人形」Op.71 ーこんぺいとうの踊り<チャイコフスキー> スロヴァキア放送交響楽団/オンドレイ・レナールト(指揮)	2:13
8. レクイエム ーサンクトゥス<ラター> ケンブリッジ・クレア・カレッジ聖歌隊/シティ・オブ・ロンドン・シンフォニア/ティモシー・ブラウン(指揮)	1:58
9. 交響詩「人魚姫」ー第2楽章(抜粋)<ツェムリンスキー> ニュージーランド交響楽団/ジェイムス・ジャッド(指揮)	4:24
10. フルート協奏曲 ト短調「夜」Op.10 No.2 RV439 ー第6楽章<ヴィヴァルディ> ベーラ・ドラホシュ(フルート)/ニコラウス・エステルハーギ・シンフォニア	2:12
11. バレエ音楽「シンデレラ」組曲第1番 Op.107 ーシンデレラのワルツ<プロコフィエフ> ウクライナ国立交響楽団/テオドレ・クチャル(指揮)	2:49
12. 交響詩「魔法使いの弟子」<デュカス> スロヴァキア放送交響楽団/ケネス・ジーン(指揮)	11:27
13. ヴァイオリン・ソナタ第3番 ハ短調 Op.45 ー第2楽章<グリーグ> ヘンニング・クラッゲルード(ヴァイオリン)/ヘルゲ・チェックシュース(ピアノ)	6:14
14. ピアノ協奏曲第3番 ハ長調 Op.26 ー第1楽章<プロコフィエフ> クン・ウー・パイク(ピアノ)/ポーランド国立放送交響楽団/アントニ・ヴィト(指揮)	9:29
15. バレエ音楽「四季」Op.67 ーXV. 秋(情景とアポテオーズ)<グラスノフ> スロヴァキア放送交響楽団/オンドレイ・レナールト(指揮)	2:40
16. バレエ音楽「くるみ割り人形」Op.71 ー花のワルツ<チャイコフスキー> スロヴァキア放送交響楽団/オンドレイ・レナールト(指揮)	6:56
17. バレエ音楽「ロミオとジュリエット」Op.64 ー終曲<プロコフィエフ> ウクライナ国立交響楽団/アンドリュウ・モグレリア(指揮)	4:00

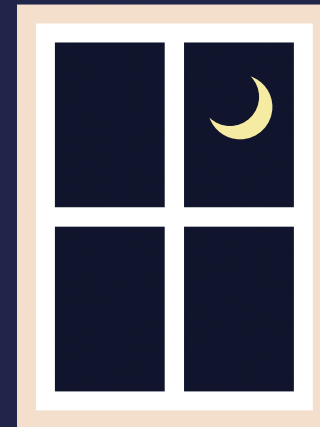
Total Time 72:45

トラック 18～21 (Extra Track) の情報は P.14 に掲載しています♪

Track 1 ~ Introduction

～これは、世界のどこかにいるかもしれない
ある魔法少女たちのものがたり…～

バレエ音楽「ロミオとジュリエット」Op.64 ー導入曲＜プロコフィエフ＞



【大人のみなさまへ】

セルゲイ・プロコフィエフは、近代ロシアの作曲家。「ロミオとジュリエット」は、彼の代表作であり、バレエ音楽の最高傑作のひとつにも数えられています。この導入曲には、ジュリエットのその後の運命を彷彿とさせる、様々なメロディの断片が登場し、まるでネタバレ要素を盛り込んだアニメの予告編のよう。小さな女の子も大きなお友達も、たちまち、魔法少女ワールドに迷い込んでしまうことでしょう。

Track 2 ~ Magic



あれ？なんだろう…このキラキラした音……
うるんだひとみの、見知らぬ女の子が、
わたしに何かを言おうとしてる。
これは、夢？それとも…？

バレエ音楽「魔法の鍋」P129 —コサックの踊り<レスピーギ>



【大人のみなさまへ】

ゴージャスなサウンドを堪能できる「ローマ三部作」が代表作として知られるオットリーノ・レスピーギですが、このような可憐な音楽を書き残していることを知る人は少ないでしょう。「魔法の鍋」は、恋を夢みるロシアの皇女を主人公とした物語で、音楽は、ロシアの作曲家による様々な作品をモチーフにしています。一般になじみのある曲ではありませんが、このファンタジックなテイストには、まったく驚かされるではありませんか。

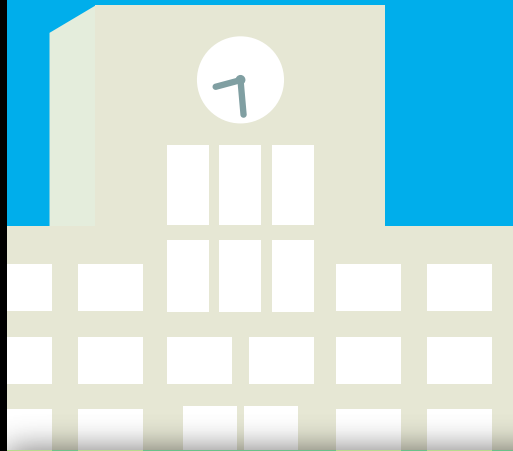
Track 3, 4 ~ Bell

わーっ！ やっぱり夢だった！
ちこく、ちこく…学校まではしらなきゃ！
「子供の魔法の杖」組曲第1番 一序曲＜エルガー＞



ふえー、なんとか間に合ったあ…
学校のチャイムが、青空の下で
たのしそうになりひびいてる！

鐘の歌＜アンダーソン＞



【大人のみなさまへ】

おやおや、ヒロインは寝坊してしまったようですね。エドワード・エルガーは、「威風堂々」で有名なイギリスの代表的作曲家。子供向けのオーケストラ作品として知られるこの曲からは、パンをくわえて家をとびだし、スカートをひるがえしながら、学校へ走っていくヒロインの姿が容易に想像できることでしょう。続く「鐘の歌」のルロイ・アンダーソンは、ライト・クラシックの旗手として名高いアメリカの作曲家。チャイムの音とともに学校にすべりこんで、ヒロインもほっと安心というところですね。

Track 5,6 ~ Kastchei

あれ？
チャイムの音が、おかしくなりはじめたよ…!?
空も、まっくらになっちゃった！

バレエ音楽「シンデレラ」組曲第1番 Op.107 ー真夜中
＜プロコフィエフ＞



手下たちをしたがえた、みにくい顔の悪魔が
ひゅるひゅる、と、空からおりてきた！
…これは、もしや、“カスチェイの魔王”!?

バレエ音楽「火の鳥」ー火の鳥の出現～カスチェイ王の魔の踊り
＜ストラヴィンスキー＞



【大人のみなさまへ】

19世紀のバレエ音楽には、量産型の味気ない作品もみられますが、20世紀ロシアのバレエ音楽は、野心的な前衛作品の宝庫。プロコフィエフの「シンデレラ」然り、そしてイーゴリ・ストラヴィンスキーの「火の鳥」然り。特にストラヴィンスキーは、モダン・バレエ団「バレエ・リュス」の音楽を手がけた中心人物であり、その砲撃さながらのサウンドは、バレエそのもののイメージをくつがえすものでした。なお、「カスチェイ」とは、スラヴ神話に登場する、若い女性を襲う醜悪な老人の名前。まさに魔法少女の敵役としてはお誂え向きですね。

Track 7, 8, 9 ~ Sanctus



たいへん! 学校がのっとられちゃう!
「こんぺいとうの妖精さん、わたしにパワーを!」

バレエ音楽「くるみ割り人形」Op.71 —こんぺいとうの踊り<チャイコフスキー>

「サントゥス、サントゥス…」
妖精さんのうたごえがびびきわたり、
魔法のタクトが光りだす。

…そう。わたし、ふだんはただのドジな女の子だけど…

レクイエム —サントゥス<ラター>

「へんしん!! マジカル・レボリューション…!!」

…実は、魔法少女なの!!!

交響詩「人魚姫」—第2楽章(抜粋)
<ツェムリンスキー>



【大人のみなさまへ】

「変身」は魔法少女アニメに欠かせぬ定番シーン。最近では数分に及ぶ気合の入った変身シーンを披露するヒロインも珍しくないようです。待機してしてくれる敵もなかなか律儀なものですが、それはさておき、ここではロシアの巨匠ピョートル・チャイコフスキー、イギリス現代の作曲家ジョン・ラター、オーストリアのユダヤ系作曲家アレクサンダー・ツェムリンスキーといった、それぞれ全く異なる個性の三作曲家の作品をBGMに、ヒロインが、学校の制服から、かわいい戦闘コスチュームに変身する姿を想像しようではありませんか。

Track 10, 11, 12 ~ Sorcerer

「ミラクル・フルート・コンチェルト！」
タウトを振って、カスチエイの魔王にこうげき！
「くっ…ヴィヴァルディとは、
いがいとシブいしゅみではないか…！」

フルート協奏曲 ト短調「夜」Op.10 No.2 RV439 ー第6楽章
＜ヴィヴァルディ＞



「♪プロコロ、プロコロ、プロコロ…！」
とくいの魔法をとええると、ひるむ魔王。
「なまいきな小娘め…きさまもシベリア送りにしてやるわい！」
バレエ音楽「シンデレラ」組曲第1番 Op.107 ーシンデレラのワルツ＜プロコフィエフ＞



魔王の手下たちが、バケツをひっくりかえし、
たちまち、あたりいちめん水びたしに！
ちやーッ！もうだめ、おぼれちゃうよう……

交響詩「魔法使いの弟子」＜デュカス＞

【大人のみなさまへ】

最近の魔法少女は、男の子顔負けのアクションで闘うのが主流のようですが、それでも、BGMにはひとかけらの乙女らしさがあるしてほしいもの。アントニオ・ヴィヴァルディの、激しくも高雅なフルート協奏曲。プロコフィエフの、匂やかな気品とダークな情念を漂わせた魅惑のワルツ。そして、ポール・デュカスの、ホラー・テイストでありながらもちょっぴりお茶目な交響詩。魔法使いの留守中に家を水びたしにしてしまう弟子を描いたこの曲は、某古典アニメ映画で使用されたことで世界的に有名になりました。

Track 13 ~ Sonata

くすん…どうしよう……

このままじゃ、魔王をやっつけられないよう……

ヴァイオリン・ソナタ第3番 ハ短調 Op.45 一第2楽章
＜グリーグ＞



【大人のみなさまへ】

魔法少女といえど、心は等身大の女の子。強い敵にやられて打ちひしがれたり、悲しみの淵に沈んでこそ、いっそうの情をかきたてられるというもの。こんなヒロインの涙のシーンを叙情的に彩るのは、印象的なピアノ・ソロで始まる、ノルウェーの代表的作曲家エドヴァルド・グリーグのヴァイオリン・ソナタ。ぬいぐるみや動物の置物をこよなく愛した「乙女男子」だったというグリーグが、いじらしくも愛らしいメロディを運んできます。

そのとき。

「おねがい……もう泣かないで」

そこには、なんと、夢に出てきたあの女の子が。
これは、現実？それとも…？

「あなたは…？」

「わたしはジュリエット。あなたとおなじ、魔法少女よ」

「えっ」

「みんなの愛をまもるために、ずっと、たたかっていたの。」

でも…あるとき、あの魔王に囚われて、
氷の世界・シベリアに閉じこめられてしまったのよ」

「……そんな……ひどい……」

「あなたは、音楽のパワーを授かった魔法少女よね。」

わたしは、愛のパワーを授かった魔法少女なの。

わたしのもつパワーを、あなたにあげるわ。

2つの魔法を合わせて、魔王をたおしてほしいの」

「……わかったわ。そうすれば、あなたを助けられる？」

ジュリエットはほほえんで、それ以上はなにも言わなかった。

Track 14 ~ Concerto

「♪プロコロ、プロコロ、プロコロ…!!」
ジュリエットが、愛の魔法をくれたんだもの。
もう、泣いてなんか、られない!

ピアノ協奏曲第3番 ハ長調 Op.26 ー第1楽章<プロコフィエフ>



【大人のみなさまへ】

プロコフィエフには、複雑怪奇な作風というイメージがあるでしょうが、「ピーターと狼」や「ロミオとジュリエット」、そしてこの「ピアノ協奏曲第3番」など、いくつかの代表作においては、意外にも最もシンプルな「ハ長調」を用いています。ハ長調は、モーツァルトの交響曲「ジュピター」がそうであるように、純粹で勇敢、ときに神聖さを感じさせる調といわれています。お城の階段を駆け上がるシンデレラのように、あるいはバルコニーから駆け下りるジュリエットのように、ハ長調の迷宮を縦横無尽に走るピアノからは、はちきれんばかりのピュアなパワーが感じ取れることでしょう。

Track 15, 16 ~ Flower



「むぐぐ…なんという…美しき音…!」
カスチエイの魔王が、耳をふさぐ。

バレエ音楽「四季」Op.67 -XV. 秋(情景とアポテオース)<グラズノフ>



音楽のパワーと、愛のパワー。
2つの魔法が、花びらのシャワーとなってふりそそぐ。
魔王と手下たちは、枯れ葉となって、
くるくると空へ巻きあげられていった。

バレエ音楽「くるみ割り人形」Op.71 -花のワルツ
<チャイコフスキー>

【大人のみなさまへ】

魔法少女の物語のクライマックスは、華やかなバレエ音楽で迎えようではありませんか。アレクサンドル・グラズノフは、「ロシアのブラームス」の異名を取る大家で、きらびやかなバレエ音楽「四季」や「ライモンダ」はその代表作。チャイコフスキーの「花のワルツ」は、名作バレエ「くるみ割り人形」の中でも、最も有名な1曲。少女クララが夢見た“お菓子の世界”を彩る、ウィーン風の美しいワルツで、花の衣装をまとった大勢のバレリーナによって踊られます。

Track 17 ~ Finale



ふえ～…なんとかやっつけられたあ～。
でも、ジュリエットは？ いったいどこ…？
「…ごめんなさい。あなたに魔法をあけてしまったから、
わたしは、元の世界に戻ることができないの」
「えっ…そんなの、いやだよ…！」

ジュリエットのやさしい声が、耳にこだまする。
「わたしの愛のパワーを、受けとってくれてありがとう…
どうか、忘れないでね……」



声は消え、ふと手を見ると、小さな花びらがひとつ。
「ジュリエット。…わたし、きっと、りっぱな魔法少女になってみせる」
だんだんと明るくなっていく空の下で、わたしは大きくうなずいた。

バレエ音楽「ロミオとジュリエット」Op.64 ー終曲＜プロコフィエフ＞

[おしまい]

【大人のみなさまへ】

ご存知の通り「ロミオとジュリエット」は、悲劇の恋物語ですが、ジュリエットが決然と死を選び、愛するロミオの側に横たわる「終曲」からは、むしろ、静かな幸福感が感じられないでしょうか。そう、この曲もまた、無垢なるジュピターの調である「ハ長調」でしめくられるのです。ヴェローナの町が、若き恋人たちの死によって平和を取り戻したように、魔法少女は、幾多の悲しみを経験しながらも、ピュアな志を抱いて、成長していくのでありましょう。

さて、お届けしたストーリーはほんの一例。みなさまも、このアルバムに限らず、様々なクラシック音楽に耳を傾けながら、自由に想像の翼を広げてみてはいかがでしょうか。

EXTRA TRACKS

セルゲイ・プロコフィエフの音楽は、
ときにかわいらしく、ときにおどろおどろしく、
タクトひと振りで、くるくる変身。

Track 18

ヴァイオリン協奏曲第1番 ニ長調 Op.19 - 第2楽章＜プロコフィエフ＞
テディ・パパヴラミ (ヴァイオリン) / ポーランド国立放送交響楽団 / アントニ・ヴィト (指揮)

Track 19

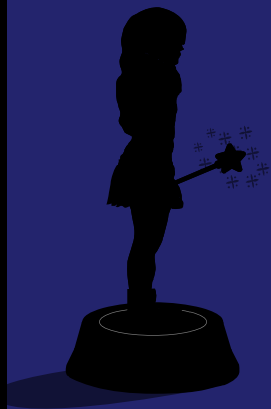
組曲「キージェ中尉」Op.60 - キージェの誕生＜プロコフィエフ＞
スロヴァキア放送交響楽団 / アンドリユー・モグレリア (指揮)

Track 20

組曲「3つのオレンジへの恋」Op.33bis - 行進曲＜プロコフィエフ＞
スロヴァキア放送交響楽団 / アンドリユー・モグレリア (指揮)

Track 21

交響曲第1番 ニ長調「古典」Op.25 - 第4楽章＜プロコフィエフ＞
ウクライナ国立交響楽団 / テオドレ・クチャル (指揮)



これって、まるで、
魔法そのもの...?

「魔法革命プロコフィエフ」ほか、「交響戦艦」シリーズの情報はこちらから！

PC・スマートフォン：ナクソス・ジャパンFacebookページ
(<http://www.facebook.com/NaxosJapan>)にアクセス
→「交響戦艦」シリーズタブをクリック。

Twitterアカウント：@naxosjapan

This compilation: ©&© 2012 Naxos Japan, Inc. All tracks © 1988-2009 Naxos Rights International Ltd.

Booklet notes: Shoko Hori (Naxos Japan) Design: KOJI SHIMA (grass)



交響戦艦シリーズ案内



発売・販売元：ナクソス・ジャパン株式会社

iTunes Store で購入

魔法少女もイけど…やっぱり、正義のヒーローにも憧れる!!
Twitterで大反響を呼んだ、ヒーローアニメのサントラ風クラシックアルバム。

交響戦艦シリーズ
第1弾!

交響戦艦 ショスタコーヴィチ ～ヒーロー風クラシック名曲集

「剣の舞」「巨人」「邪神チュジボーグと魔界の悪鬼の踊り」「戦争の神」「火の鳥」…… インパクトたっぷりのタイトルのクラシック作品の中から、戦闘、勝負、迎撃、進軍、飛行、空中戦、勝利などを特に強くイメージさせる楽曲をセレクトした、個性派のクラシック名曲集。このディスクを手にした貴方こそが、交響戦艦の新艦長です!

いやいや、孤高のダークヒーローになりきってこそ真の漢。
「仮面舞踏会」「禿山の一夜」などの名曲と共に、黒いマントが颯爽と翻る!

幻想魔神 ハチャウリアン ～ダークヒーロー風クラシック名曲集

交響戦艦シリーズ
第2弾!

発売・販売元：ナクソス・ジャパン株式会社

iTunes Store で購入



着信音 (iPhone用) も好評配信中!



ネオ・クラシック主義。

好きなときに、好きなように聴きたい!!
「クラシック音楽のあるライフ・スタイル」を探している方へ、
遊び心あふれるテーマで自由にコンパイル!